



## ◆学習会へ訪問させていただきました！（第2弾）

第1号では3校の学習会の様子をお伝えしました。引き続き本号でも、ご紹介いたします。

### ●北光小学校の皆様 ありがとうございました！！

地下鉄東豊線東区役所駅を降りてすぐの北光小学校にお邪魔しました。多くの子どもたちから「おはようございます！」と明るいあいさつをいただきました。

学習テーマ：教育資金と家計

講 師：SMBC コンシューマーファイナンス株式会社

谷 洋右さん、坂巻 太右さん、吉田 良さん



#### 学習したこと

- ライフイベントには必ずお金が関わること、ライフイベントはその人の考え方によって十人十色であるため、ライフプランの設計が重要とのことで、実際にライフイベント表（将来のイベントとそれにかかる費用を記載したもの）を作成しました。
- 子どもの大学進学に必要な費用と奨学金制度についても学びました。

#### 学習会に参加して

私たち（清水・梶田）も実際に「ライフイベント表」を作成。清水は自分これから的生活プランを書きながら「こんなに大変・・・！！」、梶田は「よく乗り切れました。」と思わず呟いてしまいました。学級生の皆様からも「ほんとに！どうしよう。家に帰って相談…」の声が。「子育ては親育ち」。子育てから得ることも大きいのです。ライフプランを立てて備えましょう。

### ●月寒東小学校の皆様 ありがとうございました！！

学習テーマ：「コミュニケーションワークショップとは」

講 師：斎藤 歩さん 俳優（北海道演劇財団 理事）



#### 学習したこと

- 「コミュニケーションとは、話すことではなく、いかに話を聞くことができるかである。」との講師のお話から始まりました。俳優教育のプログラムの1つでシアターゲームと言われているワークショップを体験。個性の強い俳優やスタッフとチームを作り、お互いの違いを認めながら相手を知り理解することによって、目的を達成するために行われているそうです。
- 様々なゲームを体験しながら、コミュニケーションを体験しました。ゲームを進めいくにしたがって、お互いの違いを体感しながら表情が豊かになり、一体感が生まれていく様子に感銘を受けました。

## 学習会に参加して

7つほどのゲームを休憩をとりながら行いました。

ゲームの内容を理解し、自分と周囲の両方の動きを考えながら体を動かさなければならず、あっという間に時間が経過しました。

言葉以外の要素から他者の気持ちを理解するというゲームを通して、共通のテーマをもとにチームで課題に取り組む、新しいタイプの体験型の学習でした。

家庭で、日常の何気ない様子から子どもの気持ちを理解することに役立ちそうです。

学級生の皆さんのがんばりがとても良く、学級内のコミュニケーションがうまく図れている様子を垣間見ることもできました。ありがとうございました。

## ◆情報交換会を実施しました！

11月下旬から12月中旬にかけて、毎年恒例の家庭教育学級情報交換会を市内7か所で実施しました。冒頭40分程度のミニ講座をお聞きいただき、その後、他の学校・園との情報交換を行いました。どの会場も活発に情報交換がなされ、学級運営の工夫やオススメの講座情報などを共有しました。いただいたご意見の一部をご紹介します。

### 【学級運営で工夫していること】

- ・新1年生1日入学やPTA総会でPRしている
- ・年度初めの学級生の募集の案内プリントを手書きで作成したところ反響が大きかった
- ・A、B、C…などグループごとに担当の講座を決めて運営
- ・1年間の活動を冊子にして配布している
- ・お試しの入会をしている
- ・参加費（1人200円）をもらって運営している
- ・学級生の募集について、やはり口コミが有力
- ・年間17回は活動している。班ごとに企画を任せている



### 【講座について】

- ・講演会は全校の保護者を対象に案内をしている
- ・料理や体を動かす講座は外せない。体験的な要素を取り入れると良い。
- ・幼稚園のため、小さい子ども連れの参加も多いので、親子で体験できる講座が良かった
- ・地域にお住まいの方や地域のお店の方を講師にお迎えする講座や、フラダンスなど母親がリラックスできる企画が好評
- ・札幌インストラクターガイドが発行している講師情報が掲載されている冊子が参考になった
- ・予算が足りないので、どうしても学校の先生など無料の講座が多くなってしまう
- ・子どもを含めた整理・整頓の講座はとても良かった

- ・おたふくのお好み焼き講座がとても良かった（複数ありました）
- ・森永乳業さん、明治乳業さん、COOPさんの講座が好評
- ・小樽ビールの醸造所の見学会がとても好評だった
- ・警察署の見学と護身術に関する講座が良かった
- ・裁判所見学と裁判傍聴が好評だった
- ・小樽の和菓子屋「つくし牧田」の和菓子作りは大変好評でした
- ・中央卸売市場の見学が好評
- ・木田製粉さんのパン作り教室が良かった
- ・アサヒビール園や道警の見学は人数が多くても可。良かったです



## 【家庭教育学級をやって良かったこと】

- ・他学年の保護者とつながることができる。学級長になると、他の学校種や学校の保護者とのつながりができる
- ・親同士で交流することができ、仲間ができた
- ・講座を受けて、いつもとは違った視点で子育てができるようになった
- ・自分で勉強するのは難しいが、家庭教育学級では学級生と楽しく勉強できる
- ・学校に足を運ぶ頻度が増えるので、学校や先生のことがよくわかる。子どもの学校での様子も見ることができる
- ・興味のなかったことでも、学習会に参加して新たな発見があった
- ・予算があって講師の先生を呼べることが魅力（会場も学校なので近くで便利）
- ・自分の心に余裕ができ、家族に優しく接することができるようになった。家庭教育学級の活動がプラスに働くとより良くなる
- ・母親も勉強して生き生きしている姿を子どもに見せることができる
- ・転勤で北海道に来て知り合いが誰もいなかったが、家庭教育学級に入りいろいろな情報を教えてもらい助かった
- ・「学校が子どもの学び舎であるなら、母親の学び舎も学校」。お母さんになったからこそ学べることがある。家庭教育学級で色々なことを学び、視野や知識が広がる。このような機会を与えてくれた子どもに感謝している。絶対に親子ともに良い影響がある

